

名称	HFC-134a用カーエアコン <b>POE</b> コンプレッサーオイル
用途	HFC-134a用カーエアコン <b>POE</b> コンプレッサーオイル
形式	エアゾール(第4類第四石油類)
成分含有量	潤滑油基油・潤滑油添加剤・リン酸トリトリル・HFC-134a・その他
内容量	50g(HFC-134a 40g・ <b>POE</b> オイル 10mℓ)
GHSラベル要素 絵表示:	
危険有害性情報:	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高圧ガス:熱すると破裂する恐れがあります。</li> <li>● 生殖機能または胎児への悪影響の恐れがあります。</li> <li>● 眼気及びめまいの恐れがあります。</li> <li>● く作用を受ける臓器(神経系)の障害の恐れがあります。</li> <li>● 暴露または暴露の懸念が有る場合、医師の診断/手当を受けること。</li> </ul>
注意事項:	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①用途以外には使用しない。</li> <li>● ②作業時は、保護手袋および保護眼鏡を着用する。</li> <li>● ③作業時は、エンジン周り的高温部、並びに回転部に触れないように十分注意する。</li> <li>● ④HFC-134aシステム専用品の為、他のシステムには使用しない。</li> <li>● ⑤注入時に、チリ・水分・空気等、異物が混入しないように注意すること。</li> <li>● ⑥内容液が塗装面、樹脂部等に付着した場合は、直ちに拭き取ること。</li> <li>● ⑦高圧側バルブに絶対に接続しない。 缶に1MPa(10kgf/cm<sup>2</sup>)以上の圧力を加えない。</li> <li>● ⑧高圧ガスを使用した製品なので、本体に注意を厳守すること。</li> <li>● ⑨フロンガスの過充填、オイルの過注入はエアコンの性能を阻害する場合があるので、過剰な両方を注入したり、短期間で繰り返し注入することのないようにする。</li> <li>● ⑩保管の際は、車内や40℃以上になる所、直射日光に当たる所、さびの発生しやすい所(水回り、高湿度のところ等)には置かない。</li> <li>● ⑪人体に使用しない。</li> <li>● ⑫締め切った部屋で大量に使用しない。</li> <li>● ⑬ストーブの近くや高熱が発生する所では絶対に使用しない。刺激臭のある有毒ガスが発生する恐れがある。</li> <li>● ⑭温風、熱湯による加熱を行わないこと。破裂する危険がある。</li> <li>● ⑮粉末のAl、Znから離して置くこと</li> <li>● ⑯幼児の手の届かないところに置くこと。</li> <li>● ⑰缶が錆びて内容物が露出、又は噴出する恐れがあるため、水回り等の湿気の高い所での保管は避けること。</li> <li>● ⑱容器は溶接、加熱、穴あけ又は切断しないでください。</li> <li>● ⑲火気、熱源から遠ざけて保管する。</li> <li>● ⑳消防法、労働安全衛生法等の法令に定めることに従う。</li> </ul>
取扱及び保管上の注意	

可燃性 火気注意	<p>高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、注意して下さい。</p> <p>①炎に向けて使用しないこと。 ②ストーブやコンロ等、火の気の付近で使用しないこと。</p> <p>③温度が40度以上になるところに置かない事。 ④火の中に入れてはいけないこと。</p> <p>⑤使い切って捨てる事。</p>
使用方法	<p><b>クリーニング装置を使用する時</b></p> <p>①作業前に本品のオイルガス缶をクリーニング装置のケミカルガス缶の取付け口にセッティングをして下さい。 (デンゲン製クリーニング装置は自動でカークーラーに充填されます。)</p> <p>②カークーラーにクリーニング作業のガス充填が終了したとき、必ずエンジンを回してください。 オイルガス缶を追加補充される時は、アイドリング状態にしてオイルガス缶を取り替えて下さい。 新缶取り付け後は、エンジンの回転数を上げて、コンプレッサーがONしているときに、ケミカルガス缶手動スイッチを押すと(低圧圧力)は上昇し、しばらくすると低圧圧力が下がり低く落ち着くとオイルガス缶内のガスが無くなっています。 (作業終了後、防塵よけ空気混入防止のために空缶をはずさないで下さい。)</p> <p><b>HFC-134a用 オイルガス缶 補充キットを使用する時</b></p> <p>①エンジンを止めて下さい。</p> <p>②低圧カプラを低圧側チャージポートに取り付け(接続)して下さい。</p> <p>③接続ホース内の空気をエアバージバルブを押して空気を「シュー」と抜いて下さい。</p> <p>④オイルガス缶は必ず口金を「上側」にして補充キットに取り付け(接続)してください。 [オイルガス缶の口金を、《横または逆さま》で取り付け(接続)すると、蛍光剤入りのオイルと液体ガスが噴出し、人体への目・衣服などに飛散することがあります。]</p> <p>⑤エンジンをONして下さい。</p> <p>⑥オイルガス缶の必ず口金を「下側」にして、オイルガス缶を振りながらカークーラーのON状態にして、エンジン回転数を2000rpm位まで上げて下さい。 (ガス缶を振っているとガスが無くなるのが判ります。)</p> <p>⑦オイルガス缶内のガスが無くなれば、エンジンはアイドリングまたはエンジンを止めて下さい。</p> <p>⑧低圧側のカプラをはずします。 (空缶は口金のほこり防止及びチャージホース内への異物の混入を防ぐため、はずさないで下さい。) ガス缶を外されるときは、ガス缶内のガスが残っている時がある為、口金は「上側」にし、噴出しに注意して缶を外して下さい。</p>
保管および廃棄方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保管の際は、破裂の原因となりますので、40℃以上になるところ、直射日光のあたる場所や錆の発生しやすい水・湿気が多い場所に置かないで下さい。</li> <li>● 缶を落としたりして、缶に衝撃を与えないで下さい。</li> <li>● 廃棄の際は、中身を使い切ってから、火の気のない戸外で、ガスを完全に抜いてから捨てて下さい。</li> <li>● 本品には冷媒を戻さないで下さい。</li> <li>● 本品に1MPa(10kgf/cm<sup>2</sup>)以上の圧力を加えないで下さい。</li> </ul>